

平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	5. 考古及び民俗資料整理事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	補助	計画	0	0	6,470	第4章 基本施策8 施策2	「明日へつながるまちづくり」～産業経済の活性化、文化・芸術・観光の充実～	-
							「佐倉ならではの」を創造・発信するまちにします	-
							歴史文化資産を保全・活用します	-
								-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	313	
本年度当初査定額	313	7,635

財源内訳	国庫支出金	県支出金				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				313	△313
本年度当初査定額	250	63				0	7,322

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 資料の台帳化、資料修復・保存処理、資料撮影と写真資料のデジタル化、収蔵場所の維持管理</p>	<p>(事業の目的) ・考古・民俗資料は、市内外の教育機関・研究者からの問い合わせ や貸出依頼、市内小学校での総合学習での活用例が多数あり、その要望に適切に回答し迅速に対応するために、資料の整理・修復を行います。 ・市内各施設における資料の貸出展示等依頼にも積極的に応じます。 ・国庫補助事業関連の出土品の台帳化を進めます。</p>	<p>(事業の効果) ・市民の財産である文化財をより良好な状態で保管し、必要に応じて活用できる状態にします。 ・学校教育・公民館等でそれらを活用することによって、市民が地域の歴史・文化に親しみやすくします。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 今後、過去の大規模調査の資料が移管されることが見込まれ、今後も民間事業に伴う埋蔵文化財調査も計画されている。このことから、文化財収蔵庫の収納余地に不足が生じることが予想される。また、収蔵庫は仮設施設であり、老朽化が進んでいる。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 県補助金が減額された。 弥富文化財収蔵庫、裏新町倉庫が老朽化してエアコン等の工事が必要となったため、この予算を計上した。</p>	<p>(見積りに関する特記事項) 実績に照らし、光熱水費を減額した。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	4,663	4,663	0
11	846	896	△50
12	265	265	0
13	1,384	1,419	△35
15	308	0	308
18	169	107	62

節	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	14	02	06	04	01	00	国宝重要文化財等(市内遺跡発掘調査)保存整備費	250	250	250	0
	15	02	08	01	01	00	文化財保存事業(埋蔵文化財緊急調査)補助金	63	63	63	0
差引一般財源								△313	7,322	△313	7,635